

地下鉄短信(第187号)平成27年4月22日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 1. 「平成27年度エコレールラインプロジェクト事業説明会」の開催

1. 「平成27年度エコレールラインプロジェクト事業説明会」の開催

平成27年度エコレールラインプロジェクト事業の説明会を4月17日(金)に日本地下鉄協会5階会議室で開催し、15地下鉄事業者、30名が参加しました。

本事業は、環境省から二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の交付を受けた基金補助事業者(一般社団法人 低炭素社会創出促進協会)が駅等の施設への省エネ設備の導入や鉄道車両の省エネ化を進める鉄・軌道事業者に対して、事業費の1/3を補助するもので、鉄道分野における温室効果ガス排出量の削減を目的とする事業です。

本説明会は、二部構成とし、まず第一部は国土交通省鉄道局から金子修久駅機能高度化推進室長、大島輸送障害対策推進官、西村指導係長を講師に迎え、昨年度との相違点を中心に事業の内容について説明があった。次に参加事業者から事前に提出していただいた質問や当日の説明に関する疑問点などに対し回答をいただきました。

引き続き行われた第二部では、環境省総合環境政策局から浜島課長補佐、木村係長、北口環境専門員を迎え、省エネ技術の事例紹介と題して、東京急行電鉄(株)電力部電気課課長補佐の幕田氏より環境省低炭素地域づくり集中支援モデル事業である「スマートモデル自由が丘駅あかりプロジェクト事業」について紹介があり、「LED照明制御システム及びその電力量削減効果」等を丁寧に説明していただき、参加者と質疑応答を行いました。

「参考」

なお、平成27年度の予算額は、低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援基金73億円の内数となっております。平成26年度ではJR、大手民鉄、公営地下鉄、中小民鉄等から応募があった事業のうちから52件が採択されている。平成27年度の公募期間は、平成27年4月14日(火)から平成27年5月15日(金)となっており、地下鉄事業者の積極的な応募が期待される。

第一部(エコレール説明会)



第二部(省エネ技術の事例紹介)



平成 27 年度「児童福祉週間」の標語

【最優秀作品】

世界には 君の輝く 場所がある こなか あやと
(古仲 彩人 10 歳 千葉県)

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp